

15分で学ぶ！ 障がい者支援の基礎

～感染症予防～

第一回 「スタンダードプリコーション」

感染症対策の基本姿勢

- ◆ **医学的に正しい知識**
- ◆ **スタンダードプリコーション**
- ◆ **医学的に不正確な知識や思い込みや過度の危機意識が差別・偏見を生み出す**

感染源 とは

**感染症の原因となる微生物（細菌、ウイルスなど）
が含まれたもの**

- **嘔吐物 排泄物**
- **血液、体液、分泌物（喀痰・膿 など）**
- **使用した器具 機材（刺入、挿入、接触したもの）**
- **以上のものに触れた手で触った食器、食品など**

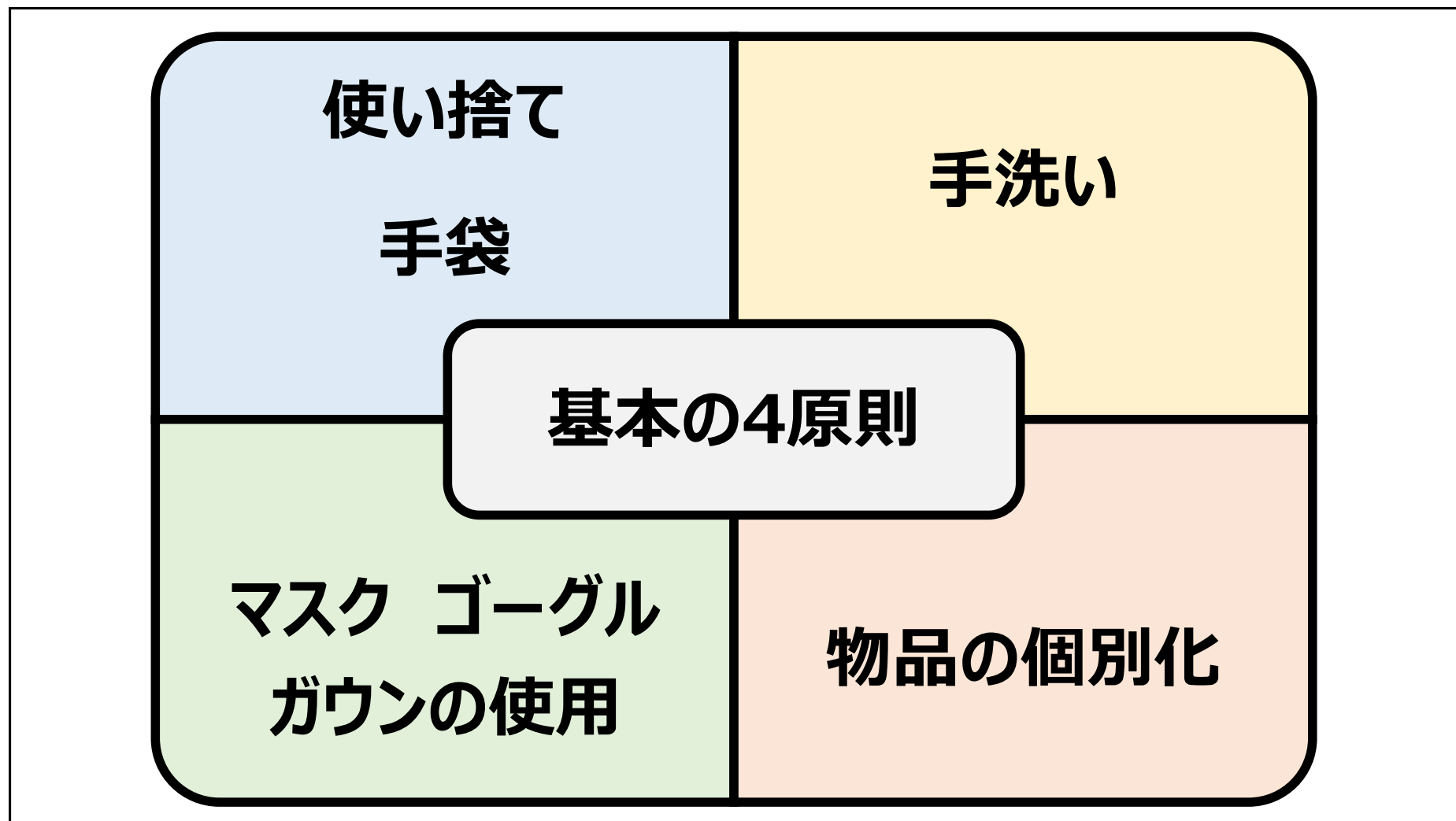
標準予防策（スタンダードプリコーション）

すべての人（施設利用者・職員だけでなく）が
何らかの病原体を持っていると仮定して
日常的な病原体対応を定める

たとえば肝炎…

100人に1人から2人が肝炎に感染

- HCV（C型肝炎ウイルス） 100万人
- HBV（B型肝炎ウイルス） 130－150万人
- 無自覚の方が大勢いるので別説では
45人に1人程度の割合で存在？
- 特定されているコントロールできる感染者ではなく、
不特定の見えない感染者かもしれない人に目を向ける



感染対策 3原則

● 感染源を取り除く



● 感染経路を絶つ



● 身体の抵抗力を高める



1 流水で手を洗う

2 洗剤を手取る
両手を洗つのに十分な量の洗剤を取りましょう

3 手のひら、指の腹面を洗う

4 手の甲、指の背を洗う

5 指の間(側面)、股(付け根)を洗う

6 親指と親指の付け根のふくらんだ部分を洗う

7 指先を洗う

8 手首を洗う (内側・側面・外側)

9 洗剤を十分な流水でよく洗い流す

10 手をふき乾燥させる

11 アルコールによる消毒

2度洗いが効果的です!
2～9までの手順をくり返し2度洗いで菌やウイルスを洗い流しましょう。

アルコールによる手指の消毒手順

病室入口、オーバーテーブルに設置されている
アルコール性手指消毒剤は自由にお使いください

1 消毒液を適量 <約1ml> 手のひらにとる

2 はじめに両手の指先に消毒液をすりこむ

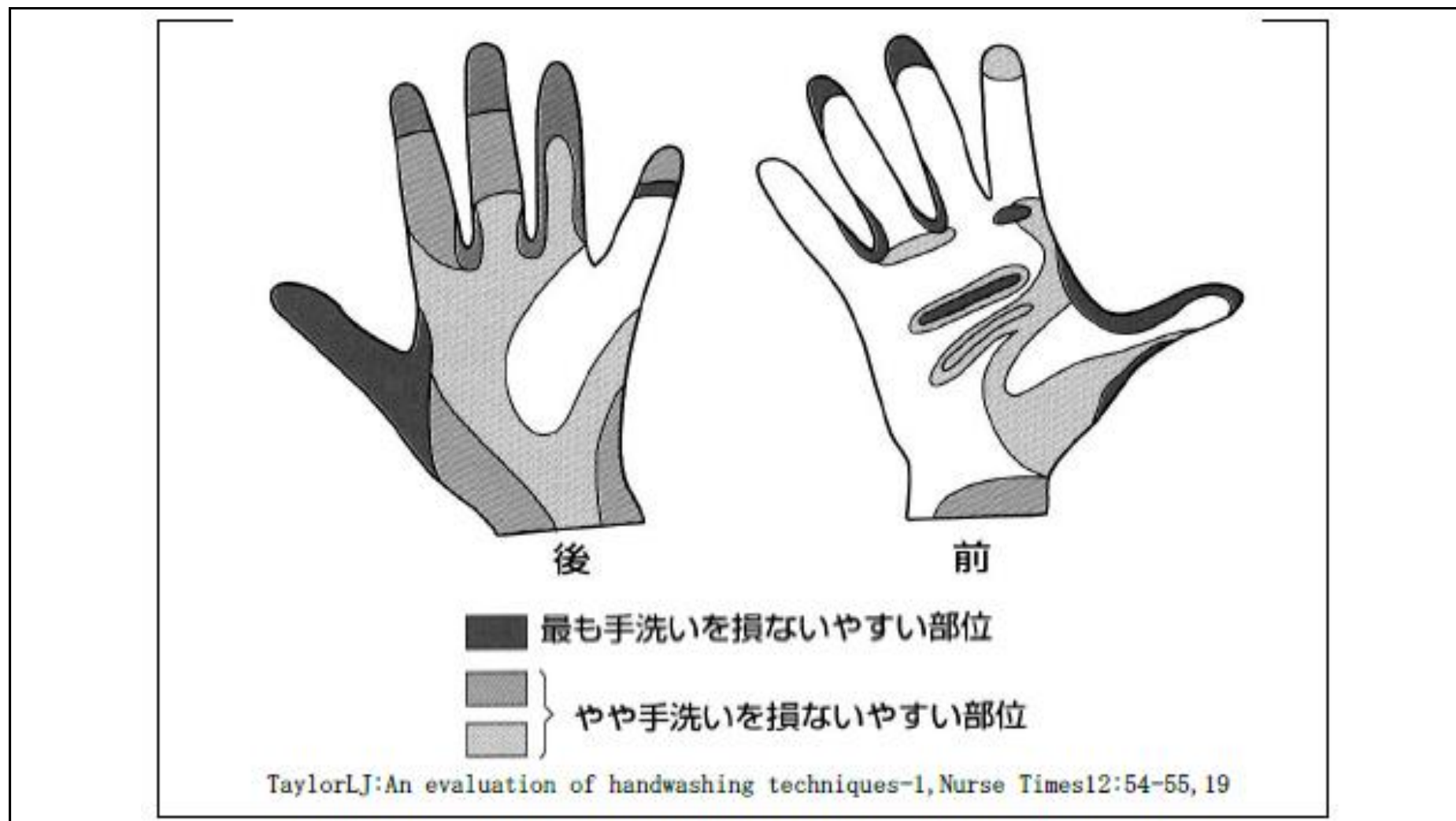
3 次に手のひらによくすりこむ

4 手の甲にもすりこむ

5 指の間にもすりこむ

6 親指にもすりこむ

7 手首も忘れずにすりこむ。乾燥するまでよくすりこむ



手荒れの対処

- ① 手荒れや傷がある時は、手袋を使用しましょう
- ② 刺激の少ない石鹼または擦式手指消毒剤を使用します
- ③ 皮質の除去につながる温水の使用は避けた方が良い
- ④ 十分な水で、石鹼の化学成分を完全に洗い流す
- ⑤ ペーパータオルで強くこすらない。やさしく、軽く叩いて水分を吸い取り、
完全に手指を乾燥させる
- ⑥ 日頃から保湿効果のあるローションやクリームでハンドケアを行う

手袋の着脱の仕方

手袋の手首の部分をつかんでめめます

反対の手も同様にはめます

脱ぐ方法

片方の手袋の袖口をつかむ

手袋を表裏逆になるように外す

手袋を外した手を反対の手袋の袖口に差し込む

手袋を表裏逆になるように外す

使用済みの手袋を廃棄し、手指衛生を行う

使った手袋は汚染源

マスクの着脱

🐱 着用方法



ノーズピースに折り目をつける



ゴムひもを耳にかける



ノーズピースを顔の形に合わせる



蛇腹を伸ばし鼻と口を覆う

🐱 脱ぐ方法



ゴムひもを持って外す




マスクを廃棄し手指衛生を行う

使ったマスクは汚染源


ガウンの着脱

着用方法



ガウンを首にかける → 袖を通す → 腰ひもを後ろで結ぶ

脱ぐ方法



首ひもをちぎる → 汚染面が内側になるように腰の辺りで折りたたむ → 袖から両腕を抜く → 適当な大きさにまとめ、腰ひもをちぎって外し廃棄する → 手指衛生を実施する

使ったガウンは汚染源